

監視化学物質審査シート (分解性・蓄積性)

官報公示 整理番号	6-1849	CAS No.	161075-02-1	管理番号	K-1844
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性				
名称 構造式等	名 称： α -（ジフルオロメチル）- ω -（ジフルオロメトキシ）ポリ[オキシ（ジフルオ ロメチレン）/オキシ（テトラフルオロエチレン）]（分子量が 500 以上 700 以 下のものに限る。） $\text{HCF}_2\text{O}(\text{CF}_2\text{O})_m(\text{CF}_2\text{CF}_2\text{O})_n\text{CF}_2\text{H}$				
用途	-				
製造及び 輸入数量	-				
外観	無色透明液体				
溶解度	水：不溶				
分解性	難分解性 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C：28 日間） BOD による平均分解度：3%（9, -2, 2）（基礎呼吸区 9.3 mg、汚泥区平均 9.7 mg） GC・MS による平均分解度：1%（1, 0, 2） ピーク 1(m,n)=(1,3)の平均分解度：2%（2, 0, 2） ピーク 2(m,n)=(0,4)の平均分解度：2%（1, 1, 3） ピーク 3(m,n)=(2,3)の平均分解度：2%（1, 1, 2） ピーク 4(m,n)=(2,3)の平均分解度：1%（1, 1, 2） ピーク 5(m,n)=(1,3)の平均分解度：1%（1, 0, 2） ピーク 6(m,n)=(1,3)の平均分解度：1%（1, 0, 2） ピーク 7(m,n)=(1,4)の平均分解度：1%（1, 0, 2） ピーク 8(m,n)=(1,4)の平均分解度：1%（1, 0, 2） ピーク 9(m,n)=(0,5)の平均分解度：1%（1, 0, 2） pH 調整：無 ①被験物質の GC-MS で検出された 9 本のピークについて分析を行っている。				

蓄積性

高濃縮性

濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：60日間）
 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ *Oryzias latipes*、濃縮度試験：コイ *Cyprinus carpio*）
 96hLC50値：>14.2 mg/L（助剤使用：HCO-40 約20倍、2-メキシエタノール 1,500 mg/L）
 水槽設定濃度（第1濃度区）：1 μg/L、（第2濃度区）：0.1 μg/L
 助剤使用：有（第1濃度区）HCO-40 18.98 μg/L、2-メキシエタノール 20 μL/L
 （第2濃度区）HCO-40 1.898 μg/L、2-メキシエタノール 20 μL/L

ヒ°-ク1(m,n)=(1,3) BCFss(第1濃度区):34,000倍、BCFss(第2濃度区):34,000倍
 ヒ°-ク2(m,n)=(0,4) BCFss(第1濃度区):29,000倍、BCFss(第2濃度区):41,000倍
 ヒ°-ク3(m,n)=(2,3) BCFss(第1濃度区):24,000倍、BCFss(第2濃度区):39,000倍
 ヒ°-ク4(m,n)=(2,3) BCFss(第1濃度区):24,000倍、BCFss(第2濃度区):37,000倍
 ヒ°-ク5(m,n)=(1,3) BCFss(第1濃度区):23,000倍、BCFss(第2濃度区):39,000倍
 ヒ°-ク6(m,n)=(1,3) BCFss(第1濃度区):22,000倍、BCFss(第2濃度区):37,000倍
 ヒ°-ク7(m,n)=(1,4) BCFss(第1濃度区):8,300倍、BCFss(第2濃度区):26,000倍
 ヒ°-ク8(m,n)=(1,4) BCFss(第1濃度区):8,800倍、BCFss(第2濃度区):26,000倍
 ヒ°-ク9(m,n)=(0,5) BCFss(第1濃度区):2,800倍、BCFss(第2濃度区):14,000倍

<部位別濃縮倍率>

ヒ°-ク1(m,n)=(1,3)

頭部（第1濃度区）：60,000～77,000倍、（第2濃度区）：67,000～72,000倍
 内臓（第1濃度区）：100,000～120,000倍、（第2濃度区）：120,000～150,000倍
 可食部（第1濃度区）：24,000倍、（第2濃度区）：23,000～29,000倍
 外皮（第1濃度区）：3,6000～40,000倍、（第2濃度区）：29,000～37,000倍

ヒ°-ク2(m,n)=(0,4)

頭部（第1濃度区）：54,000～72,000倍、（第2濃度区）：87,000～90,000倍
 内臓（第1濃度区）：90,000～110,000倍、（第2濃度区）：160,000～190,000倍
 可食部（第1濃度区）：21,000倍、（第2濃度区）：29,000～34,000倍
 外皮（第1濃度区）：32,000～34,000倍、（第2濃度区）：40,000～43,000倍

ヒ°-ク3(m,n)=(2,3)

頭部（第1濃度区）：45,000～61,000倍、（第2濃度区）：80,000～81,000倍
 内臓（第1濃度区）：71,000～79,000倍、（第2濃度区）：130,000～180,000倍
 可食部（第1濃度区）：17,000倍、（第2濃度区）：29,000～35,000倍
 外皮（第1濃度区）：28,000倍～31,000、（第2濃度区）：35,000～41,000倍

ヒ°-ク4(m,n)=(2,3)

頭部（第1濃度区）：42,000～56,000倍、（第2濃度区）：81,000～87,000倍
 内臓（第1濃度区）：77,000～92,000倍、（第2濃度区）：160,000～180,000倍
 可食部（第1濃度区）：17,000倍、（第2濃度区）：26,000～31,000倍
 外皮（第1濃度区）：26,000～28,000倍、（第2濃度区）：38,000～48,000倍

ヒ°-ク5(m,n)=(1,3)

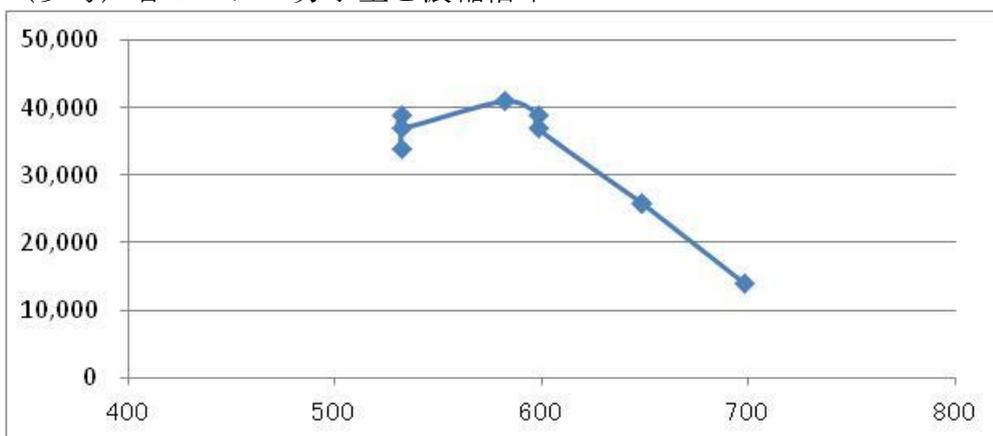
頭部（第1濃度区）：43,000～56,000倍、（第2濃度区）：88,000～96,000倍
 内臓（第1濃度区）：75,000～88,000倍、（第2濃度区）：160,000～200,000倍
 可食部（第1濃度区）：17,000倍、（第2濃度区）：28,000～34,000倍
 外皮（第1濃度区）：26,000～28,000倍、（第2濃度区）：39,000～46,000倍

ヒ°-ク6(m,n)=(1,3)

頭部（第1濃度区）：41,000～57,000倍、（第2濃度区）：75,000～83,000倍
 内臓（第1濃度区）：76,000～91,000倍、（第2濃度区）：150,000～180,000倍
 可食部（第1濃度区）：16,000倍、（第2濃度区）：30,000～31,000倍
 外皮（第1濃度区）：25,000～28,000倍、（第2濃度区）：37,000～38,000倍

	<p>ピーク7(m,n)=(1,4) 頭部 (第1濃度区) : 15,000~21,000倍、(第2濃度区) : 55,000~62,000倍 内臓 (第1濃度区) : 26,000~29,000倍、(第2濃度区) : 100,000~120,000倍 可食部 (第1濃度区) : 6,100~6,400倍、(第2濃度区) : 19,000~22,000倍 外皮 (第1濃度区) : 10,000倍、(第2濃度区) : 27,000倍</p> <p>ピーク8(m,n)=(1,4) 頭部 (第1濃度区) : 16,000~21,000倍、(第2濃度区) : 56,000~58,000倍 内臓 (第1濃度区) : 27,000~31,000倍、(第2濃度区) : 100,000~120,000倍 可食部 (第1濃度区) : 6,500~6,700倍、(第2濃度区) : 19,000~22,000倍 外皮 (第1濃度区) : 10,000~11,000倍、(第2濃度区) : 26,000~27,000倍</p> <p>ピーク9(m,n)=(0,5) 頭部 (第1濃度区) : 4,700~6,600倍、(第2濃度区) : 26,000~28,000倍 内臓 (第1濃度区) : 9,100~10,000倍、(第2濃度区) : 50,000~57,000倍 可食部 (第1濃度区) : 1,900~2,100倍、(第2濃度区) : 9,500~11,000倍 外皮 (第1濃度区) : 3,500~3,600倍、(第2濃度区) : 15,000~16,000倍</p> <p><排泄試験 : 9日間> ピーク1(m,n)=(1,3) 半減期 (第1濃度区) : 30日、(第2濃度区) : 31日 ピーク2(m,n)=(0,4) 半減期 (第1濃度区) : 33日、(第2濃度区) : 36日 ピーク3(m,n)=(2,3) 半減期 (第1濃度区) : 35日、(第2濃度区) : 35日 ピーク4(m,n)=(2,3) 半減期 (第1濃度区) : 33日、(第2濃度区) : 39日 ピーク5(m,n)=(1,3) 半減期 (第1濃度区) : 36日、(第2濃度区) : 38日 ピーク6(m,n)=(1,3) 半減期 (第1濃度区) : 36日、(第2濃度区) : 38日 ピーク7(m,n)=(1,4) 半減期 (第1濃度区) : 35日、(第2濃度区) : 38日 ピーク8(m,n)=(1,4) 半減期 (第1濃度区) : 35日、(第2濃度区) : 38日 ピーク9(m,n)=(0,5) 半減期 (第1濃度区) : 37日、(第2濃度区) : 44日</p> <p>①被験物質の GC-MS による分析で検出されたピークのうち、感度等から分析可能な 9 本のピークを分析対象としている。</p>
備考	<p>(参考) 分解性・蓄積性試験のサンプル ①各成分の含有率 : m=1,n=3 24.2%(主成分)、m=1,n=4 15.8%、m=0,n=4 15.7%、m=1,n=2 13.5%、m=0,n=3 9.5%、m=2,n=3 6.4%、m=2,n=2 3.7%、m=0,n=5 3.5%、m=0,n=2 1.6%、m=1,n=1 1.0%、その他(不純物) 5.1% ②分子量 : 532.08 (主成分)</p>

(参考) 各ピークの分子量と濃縮倍率



注) 濃縮倍率は第二濃度区の BCF_{ss} の値を使用している。